

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりせいぶ） 網走西部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 あばしりせいぶ 網走西部森林管理署 にしもんべつ 網走西部森林管理署西紋別支署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道北東部のオホーツク海側に位置する^{えんがる}遠軽町を含む1市3町（流域面積約474千ha）にまたがる、網走西部森林管理署及び網走西部森林管理署西紋別支署管内の国有林野約191千haを対象としている。</p> <p>本計画区内の約81%を森林が占め、そのうちの約50%が国有林となっている。国有林の森林の現況は、人工林が約52千ha、天然林が約127千haとなっており、人工林はトドマツ（78%）、カラマツ（13%）を主な樹種とし、天然林はトドマツ、カラマツ等の針葉樹とミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹からなる針広混交林である。</p> <p>森林の蓄積量は181 m³/haで、北海道の平均154 m³/haより多い。また、人工林の齢級構成は10齢級をピークとする一山型であり、人工林面積のうち約62%が10齢級以上となっており、森林資源の充実とともに本格的な利用期を迎えている。</p> <p>さらに、約191千haの国有林野のうち約90%が水源かん養保安林を主とした保安林に指定されており、地域の水源林として機能するほか、基幹産業である農業及び水産業の振興に資する観点からも適切な森林整備が求められている。</p> <p>本計画区には網走国定公園及び^{てしおだけ}天塩岳道立自然公園に指定されている国有林野があるほか、^{しよこつだけ}渚滑岳、ウエンシリ岳等の優れた山岳景観や^{まるせつが}丸瀬布温泉等の温泉施設を有するなど豊富な観光資源に恵まれており、登山等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、本地区は従来から建築用材等の生産が盛んであることに加え、木質バイオマスエネルギー利用についても活発な動きが出ていること等から、木材の安定供給の確保に関して国有林に対する期待も高くなっており、本計画区では平成19年12月に国有林全域でSGEC森林認証を取得し、持続的な森林経営や認証材を活用した地域づくりを推進している。</p> <p>これらのことから、多面的機能の持続的発揮を図ることができる多様な森林づくりのほか、適切な間伐や主伐後の確実な更新、林地保全に配慮した森林づくりの実施など、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>さらに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システム、伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽、コンテナ苗植栽などによる造林及び保育の低コスト化の取組を推進することにより、本地域における林業の成長産業化の実現に向けて国有林の役割を継続的に果たすことが求められる。</p>		

	<p>本事業ではこれまでの評価結果を踏まえ、以上のような地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備を推進するとともに、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の向上を図るための路網整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>735ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>16,516ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>39.10km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.15km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 12,077,722千円（税抜き 10,979,747千円） 	森林整備	更新面積	735ha		保育面積	16,516ha	路網整備	開設延長	39.10km		改良延長	0.15km
森林整備	更新面積	735ha											
	保育面積	16,516ha											
路網整備	開設延長	39.10km											
	改良延長	0.15km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">53,669,165千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">15,067,003千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td style="text-align: right;">3.56</td> </tr> </table>	総便益（B）	53,669,165千円	総費用（C）	15,067,003千円	分析結果（B/C）	3.56						
総便益（B）	53,669,165千円												
総費用（C）	15,067,003千円												
分析結果（B/C）	3.56												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本地区の森林は、10 齢級以上の面積割合が約 62%を占め、森林資源の充実により本格的な利用期を迎えている。そのため、路網整備と保育を中心とする森林整備を進めることが期待されている。特に、建築用材やバイオマスエネルギーの地産地消も進んでおり、国有林からの木材の安定供給が求められている。また、天塩岳道立自然公園や温泉などの観光資源の維持、基幹産業である農業とオホーツク沿岸の水産業の振興に資する水源涵養機能^{かん}の発揮も併せても求められている。以上により、本地区の森林環境保全整備事業の必要性が強く認められる。 ・ 効率性： 今後の森林施業を見据え、利用区域内における施業の優先度を勘案した路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着、伐採と造林の一貫作業などによる伐採再造林の経費縮減等が図られていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 計画的で効率的な本事業の実施により、森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、水源林の保全や地域の基幹産業である農業及び水産業の振興や地球温暖化の防止等に寄与し引き続き効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各</p>												

観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：網走西部森林計画区(網走西部森林管理署、西紋別支署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	11,598,115	
	流域貯水便益	2,618,649	
	水質浄化便益	10,122,865	
山地保全便益	土砂流出防止便益	19,073,987	
環境保全便益	炭素固定便益	3,732,757	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	434,251	
	木材利用増進便益	978,822	
	木材生産確保・増進便益	3,224,327	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	86,272	
	森林整備促進便益	1,799,120	
総 便 益 (B)		53,669,165	
総 費 用 (C)		15,067,003	
費用便益比	$B \div C = \frac{53,669,165}{15,067,003} = 3.56$		

